

令和 7 年度
浜松市墓地需要実態調査業務
報告書

浜松市

令和 7 年 12 月

目次

1 章	墓地に関する市民アンケート調査結果分析	1
1	調査概要	3
2	アンケート結果分析	6
2 章	市営墓地利用者アンケート調査結果分析	73
1	調査概要	75
2	アンケート結果分析	80
3 章	墓地需要数の推計	123
1	大阪府方式の特徴	125
2	大阪府方式による推計	126
3	森岡方式の特徴	130
4	森岡方式による推計	131
5	大阪府方式および森岡方式による比較と考察	135
6	森岡方式における付属資料	137

1 章

墓地に関する市民アンケート調査結果分析

1 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、近年の家族形態や社会情勢の変化に伴う市民のお墓に対する考え方を調査するとともに、浜松市の墓地の需要を算出することを目的とするものである。

2. 調査の条件

- 1) 調査地域 浜松市全域
- 2) 対象者 満 18 歳以上の市民 666,667 人（令和 7 年 8 月 1 日時点の住民基本台帳より）
- 3) 抽出方法 上記から無作為に抽出した 5,000 人
- 4) 調査方法 調査票郵送、調査票回答またはインターネット回答併用
- 5) 調査期間 2025（令和 7）年 9 月 19 日～10 月 10 日
- 6) 委託機関 一般財団法人しんきん経済研究所

3. 回収結果

回収数 2,581 人（調査票：1,618 人、インターネット：963 人）
回収率 51.6%

4. 報告書内のデータ記述について

- 1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出を行う。そのため、比率の合計が 100%にならないことがある。
- 2) 基数とすべき実数は、集計表の回答者数として表記され、図表中に「n」として記載した。比率はこれを 100%として算出している。
- 3) 本章と次章以降の墓地需要数の推計の整合性の観点から、本業務においては各設問において回答がなかったものは回答割合から除外している。そのため、設問により回答者数（「n」）は異なる場合がある。
- 4) 設問の選択肢が複数回答の場合は、比率の合計は通常 100%を超える。
- 5) クロス集計の図表については、表側・表頭となる設問に回答がなかったものは、これを表示しない。そのため、全体の件数と表側の回答者数の合計は一致しないことがある。
- 6) 設問の選択肢は、出力や分析の都合上、適宜省略を行う。

5. 図表の数値の統計的な見方

全ての対象者（母集団）から任意の人数を無作為により抽出したアンケート調査を「標本調査」といい、本調査においても満 18 歳以上の市民 666,667 人を母集団とした標本調査を行った。標本調査は、母集団での調査と比べて回答割合に差が生じる（標本誤差）。標本誤差の求め方は次の式で表され、統計学の基本的な概念として確立されている。

$$\text{標本誤差} = t \times \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

N : 母集団の人数
 n : 標本サイズ
 P : 設問の回答割合
 t : 誤差の幅を表す係数

誤差の幅を表す係数は信頼区間 95%を表す 1.96※¹を使用し、本調査の回収数 2,581 人で計算すると、標本誤差は 1.9%※²となる。これは標本誤差が最も大きい回答割合である 50%（例：「はい」50%、「いいえ」50%）の場合において、母集団との回答割合の差が±1.9%（48.1～51.9%）になることを意味する。

統計学上、本調査は母集団（満 18 歳以上の市民）を対象にした場合の調査に比べ、誤差の範囲が±1.9%の範囲に収まるため十分な精度が確保されている。

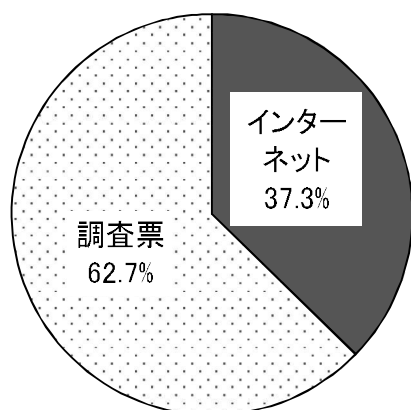
※ 1 1.96 : 信頼区間 95%の係数。信頼区間 95%は国や公的機関、研究機関が行う社会調査で最も用いられる設定値（浜松市民アンケート参照）。同様の調査を 100 回行った場合、得られた回答割合が 95 回は標本誤差の範囲に含まれることを表す。

※ 2

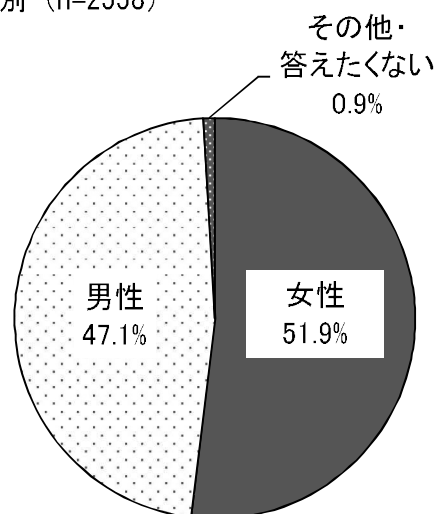
$$1.9\% = 1.96 \times \sqrt{\frac{666,667 \text{ 人} - 2,581 \text{ 人}}{666,667 \text{ 人} - 1} \times \frac{\text{設問の回答割合 } 50\% (100\% - \text{設問の回答割合 } 50\%)}{2,581 \text{ 人}}}$$

6. 回答者の属性

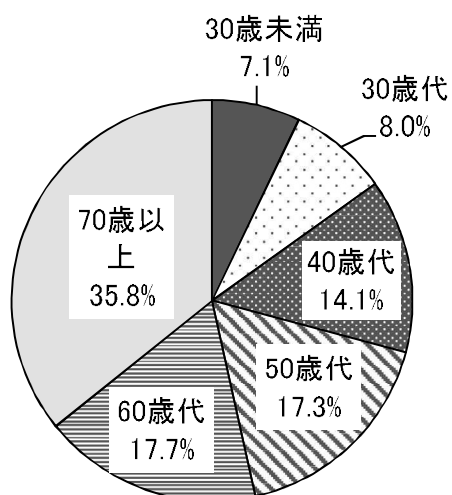
(1) 回答方法 (n=2581)



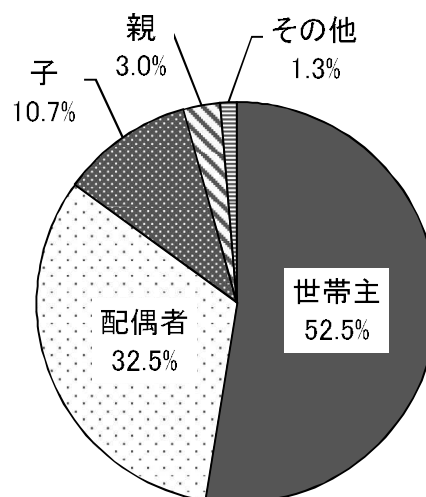
(2) 性別 (n=2558)



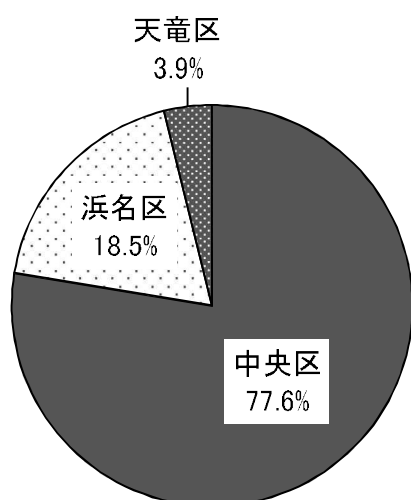
(3) 年齢 (n=2573)



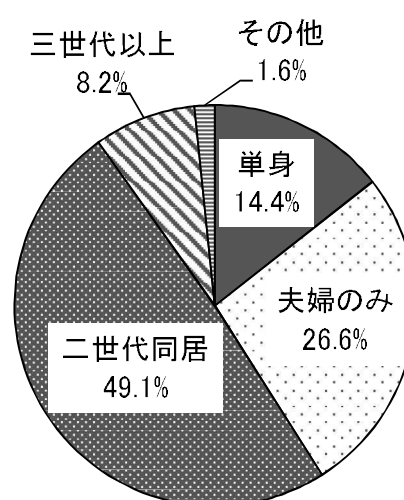
(4) 続柄 (n=2554)



(5) 居住区 (n=2558)



(6) 世帯構成 (n=2560)



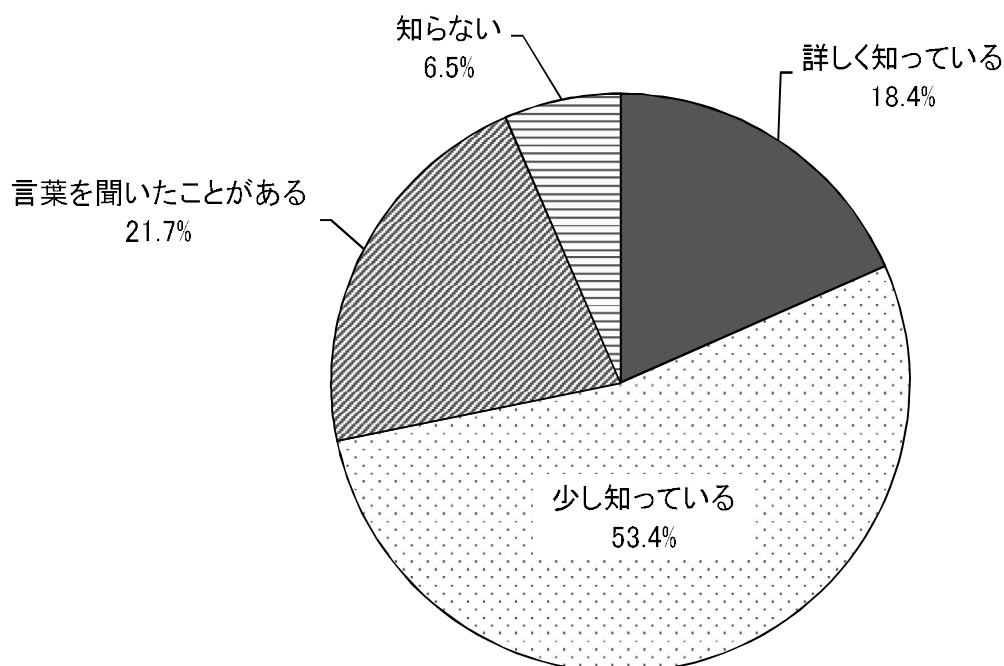
2 アンケート結果分析

問1 いわゆる「墓じまい※」という言葉を知っていますか。

※墓じまいとは、現在の墓地から他の墓地へお墓を移したり、永代供養へ移行、合葬墓へ移したりすることです。

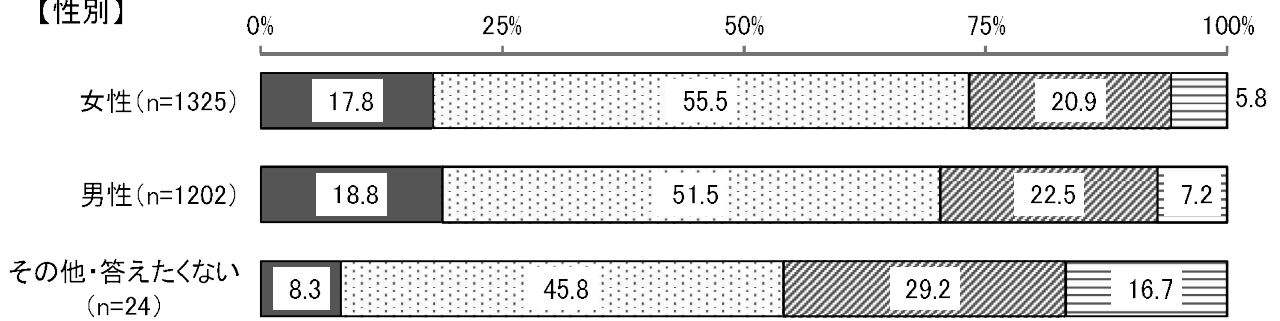
単一回答（n=2574）

墓じまいという言葉を知っている人は9割以上

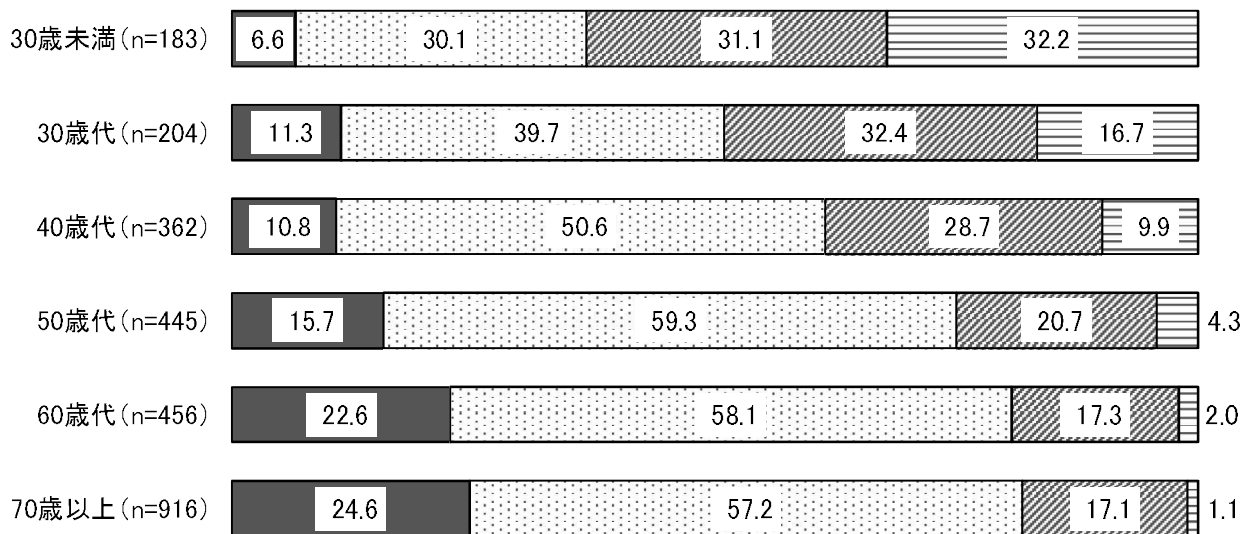


- 「墓じまい」という言葉を知っているかについては、全体では「少し知っている」が53.4%と最も多く、次いで「言葉を聞いたことがある」が21.7%となった。「詳しく知っている」「少し知っている」「言葉を聞いたことがある」を合計した『知っている』は93.5%となった。「知らない」は6.5%となり、『知っている』が「知らない」を87.0ポイント上回っている。
- 性別でみると、『知っている』は「女性」が94.2%と最も多く、「男性」が92.8%となり、全ての性別で『知っている』は8割を超える。
- 年齢別でみると、『知っている』は「70歳以上」が98.9%と最も多く、「30歳未満」は67.8%と最も少なかった。年齢が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなる。
- 世帯構成別でみると、『知っている』は「夫婦のみ」が96.9%と最も多く、「単身」は89.4%と最も少ない回答となったものの、全ての世帯構成で約9割の回答割合となった。

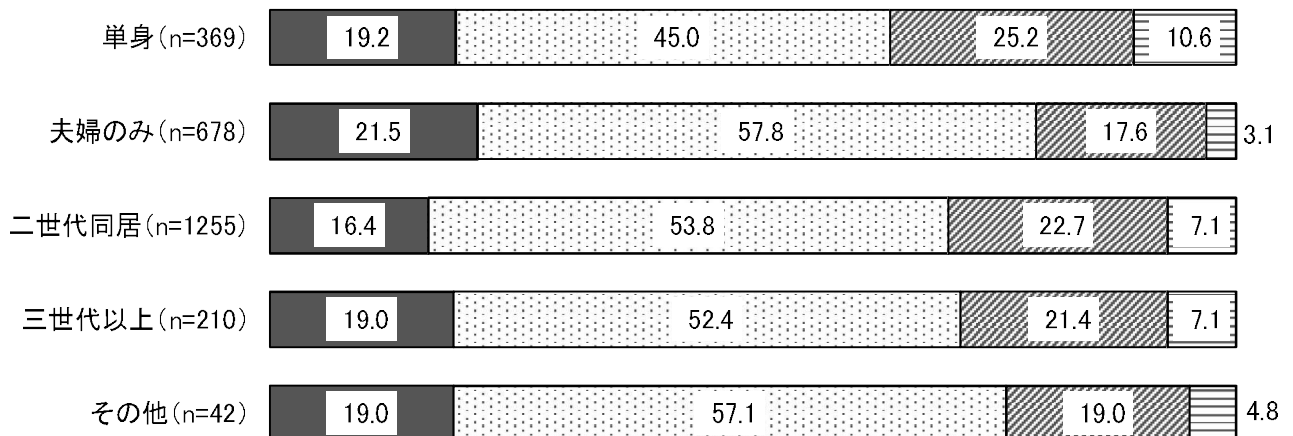
【性別】



【年齢別】



【世帯構成別】



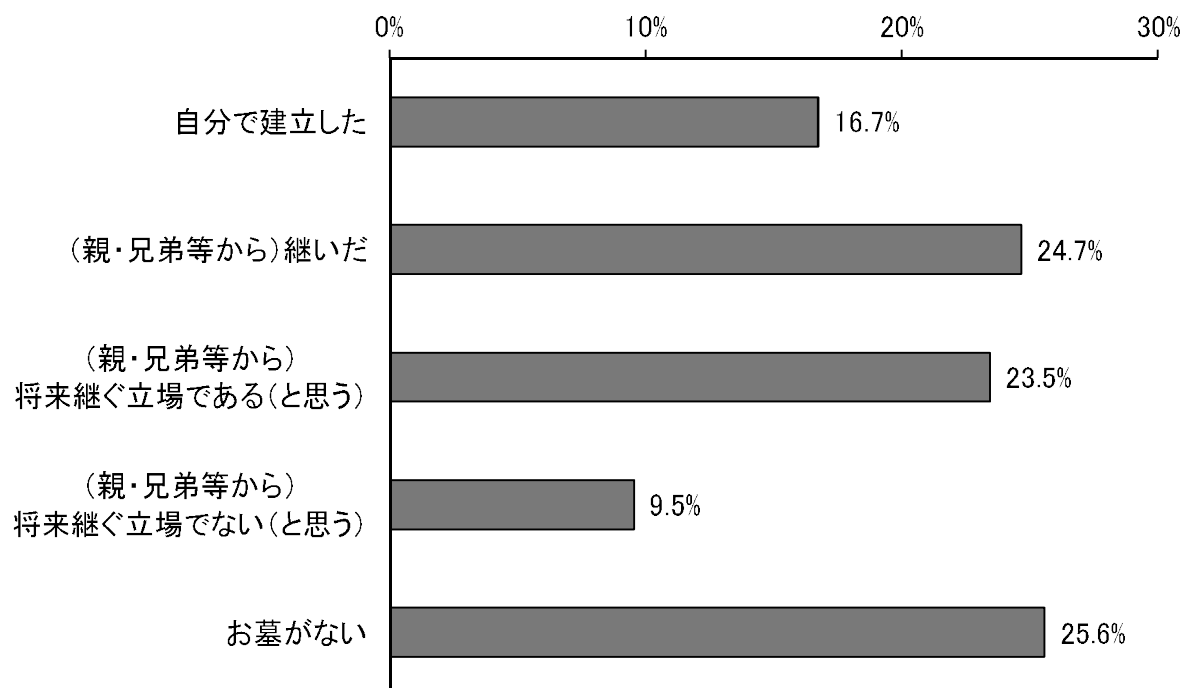
☒ 17.8 18.8 8.3 6.6 11.3 10.8 15.7 22.6 24.6 19.2 21.5 16.4 19.0 19.0
☐ 55.5 51.5 45.8 30.1 39.7 50.6 59.3 58.1 57.2 45.0 57.8 53.8 52.4 57.1
☒ 20.9 22.5 29.2 31.1 32.4 28.7 20.7 17.3 17.1 25.2 17.6 22.7 21.4 19.0
☐ 5.8 7.2 16.7 32.2 16.7 9.9 4.3 2.0 1.1 10.6 3.1 7.1 7.1 4.8

問2 あなた（あなたの配偶者）の、お墓に対する立場を教えてください。

（複数のお墓がある場合は、関係性が一番深いお墓について回答ください。）

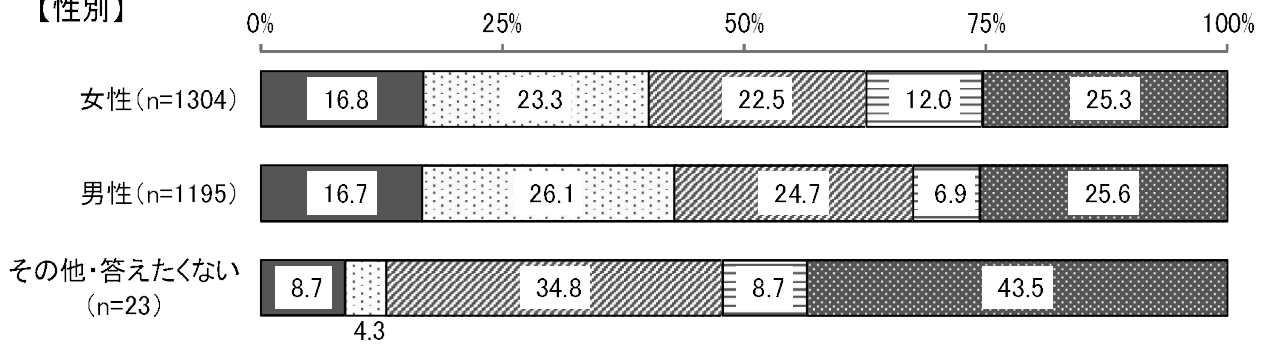
単一回答（n=2545）

家族所有を含めなんらかの『お墓がある』は4人に3人

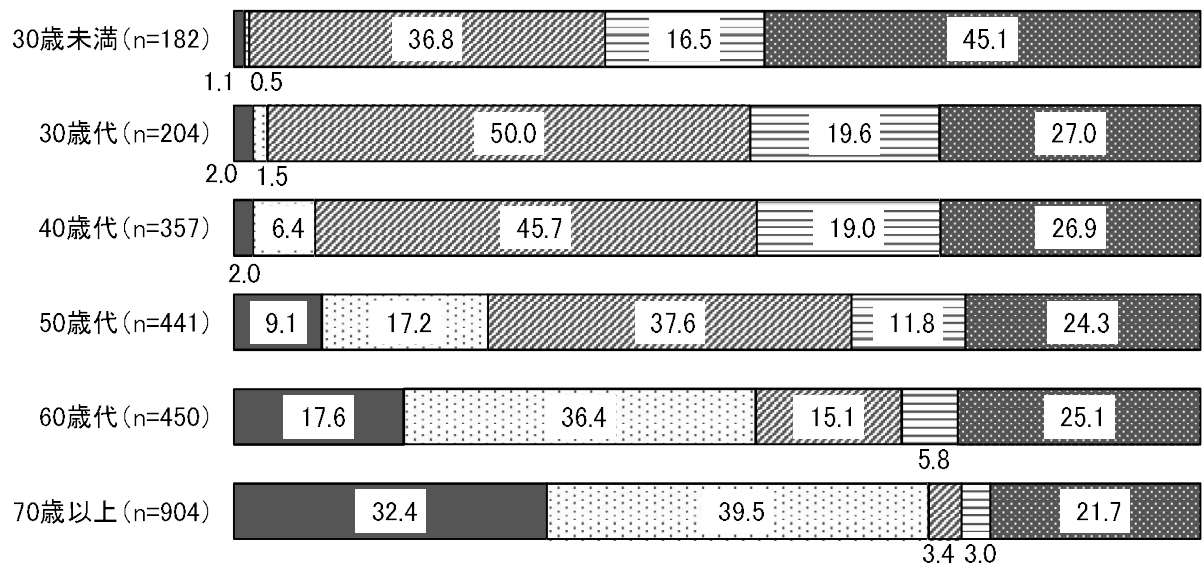


- お墓に対する立場については、全体では「お墓がない」が25.6%と最も多く、次いで「（親・兄弟等から）継いだ」が24.7%となった。上から2つの選択肢「自分で建立した」「（親・兄弟等から）継いだ」を合計した『現在お墓を保有している』は41.4%となった。また上から4つの選択肢「自分で建立した」「（親・兄弟等から）継いだ」「（親・兄弟等から）継ぐ立場である（と思う）」「（親・兄弟等から）継ぐ立場でない（と思う）」を合計した『お墓がある』は74.4%となり、4人に3人が『お墓がある』とする回答結果となった。
- 性別でみると、『お墓がある』は「女性」が74.6%、「男性」が74.4%となった。
- 年齢別でみると、「30歳代」以上は『お墓がある』が7割以上となったが、「30歳未満」は5割となった。
- 世帯構成別でみると、全ての世帯構成で『お墓がある』が7割以上となった。

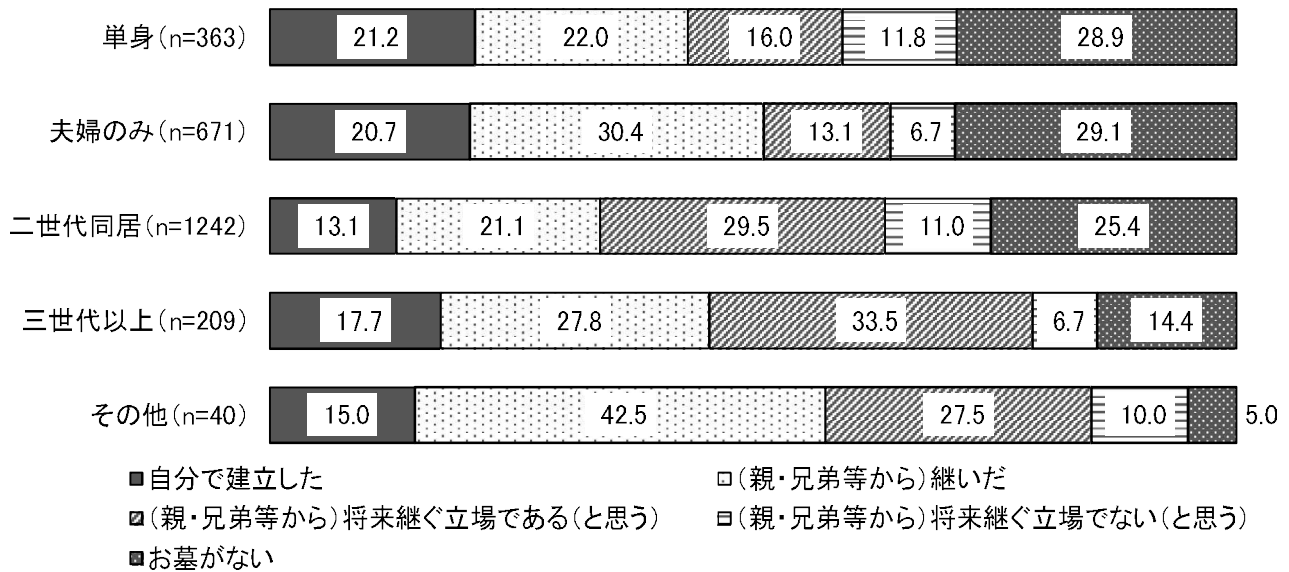
【性別】



【年齢別】



【世帯構成別】



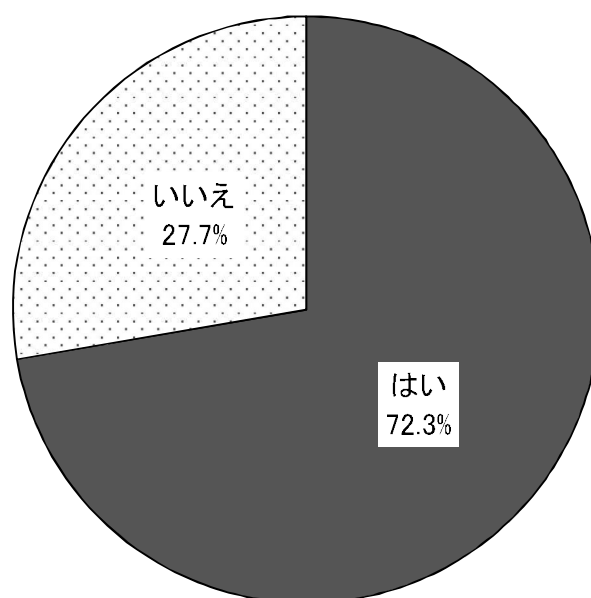
- 自分で建立した
- (親・兄弟等から) 将来継ぐ立場である(と思う)
- お墓がない
- (親・兄弟等から) 継いだ
- (親・兄弟等から) 将来継ぐ立場でない(と思う)

問3 問2で「1、2」と答えた方（現在お墓を保有している方）にお聞きします。

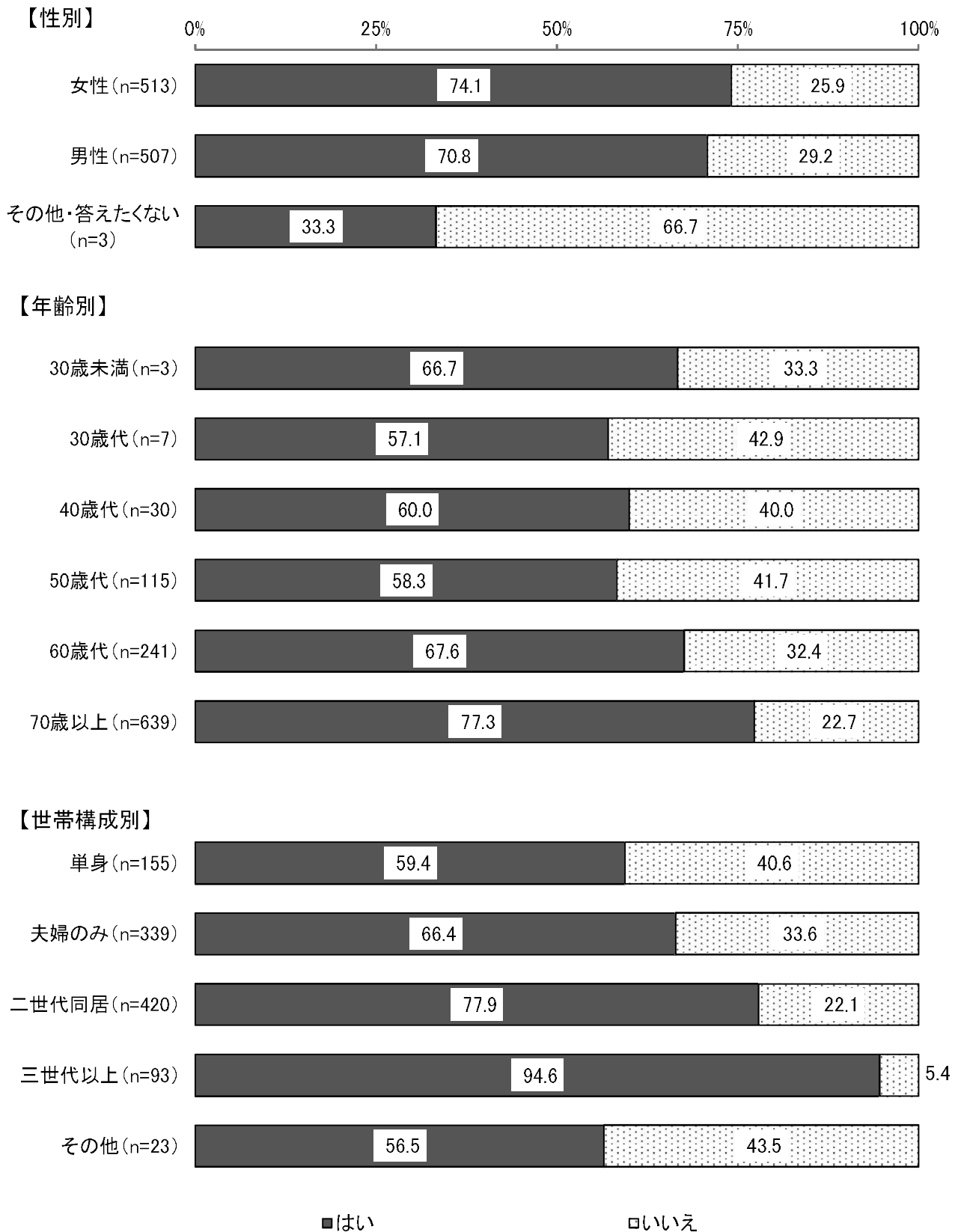
今後、お墓を守ってくれる（継いでくれると考える）人はいますか。

単一回答（n=1040）

今後、お墓を守ってくれる人がいるのは72.3%



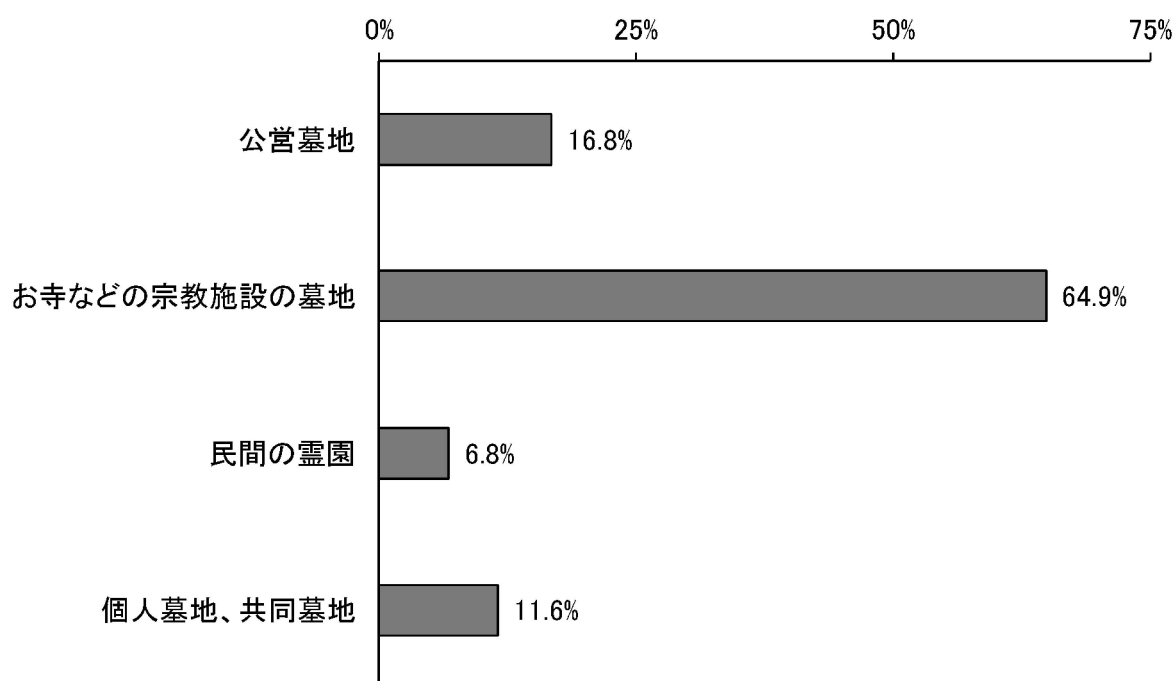
- 今後、お墓を守ってくれる（継いでくれると考える）人はいるかについては、全体では「はい」が72.3%、「いいえ」が27.7%となった。「はい」が「いいえ」を44.6ポイント上回る結果となった。しかしながら、将来的に4基に1基が無縁墓になる可能性があるといえる。
- 性別でみると、「女性」と「男性」は「はい」が7割以上を占める。
- 年齢別でみると、全ての世代で「はい」が5割以上となった。特に「70歳以上」は77.3%となり、約8割を占める回答結果となった。
- 世帯構成別でみると、全ての世帯構成で「はい」が5割以上となった。特に「三世代以上」は「はい」が94.6%となり、「単身」の59.4%と比べて35ポイント以上高い。



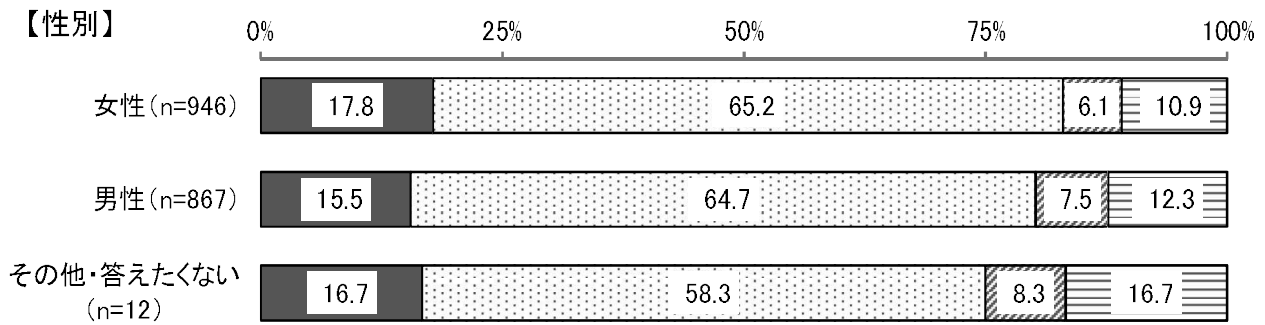
問4 問2で「1～4」と答えた方（お墓がある方）にお聞きます。
そのお墓の形態について教えてください。

単一回答（n=1843）

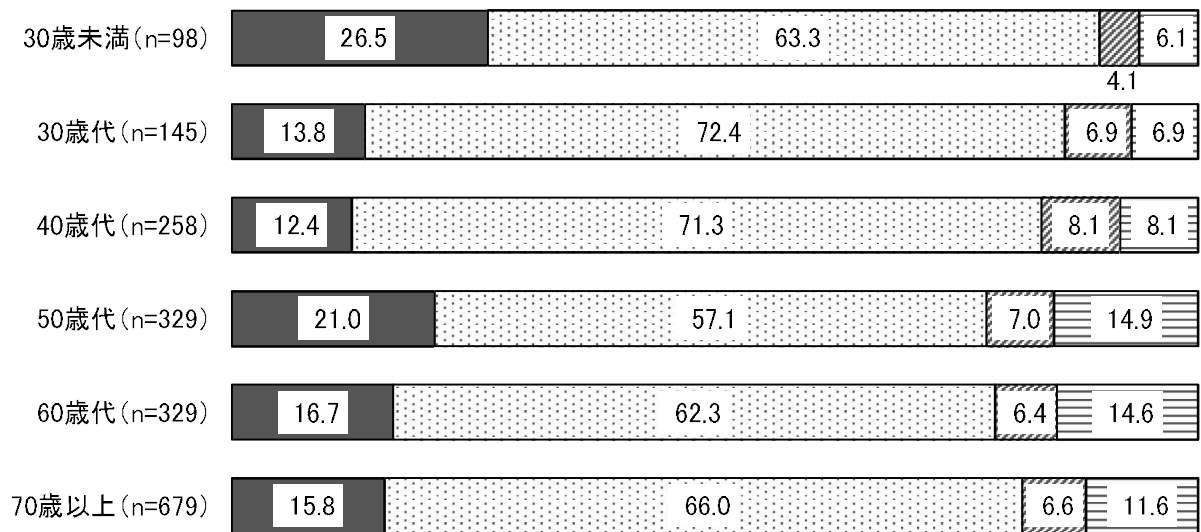
保有しているお墓の形態は「お寺などの宗教施設の墓地」が64.9%



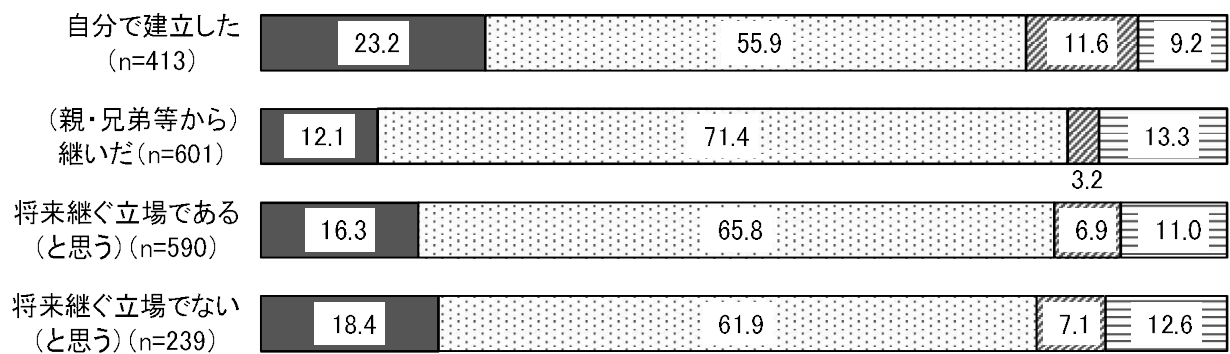
- 保有しているお墓の形態については、全体では「お寺などの宗教施設の墓地」が64.9%と最も多い。「公営墓地」が16.8%、「個人墓地、共同墓地」が11.6%、「民間の霊園」が6.8%となり、「お寺などの宗教施設の墓地」以外は2割以下となった。
- 性別でみても、全ての性別で「お寺などの宗教施設の墓地」が最も多い。
- 年齢別でみても、全ての年齢で「お寺などの宗教施設の墓地」が最も多い回答であるものの、「30歳未満」「50歳代」は「公営墓地」が2割を超える。
- お墓に対する立場別（問2）でみても、「お寺などの宗教施設の墓地」が最も多い。一方で、「自分で建立した」は「公営墓地」が23.2%と、5人に1人以上が「公営墓地」にお墓を所有している。



【年齢別】



【お墓に対する立場別】

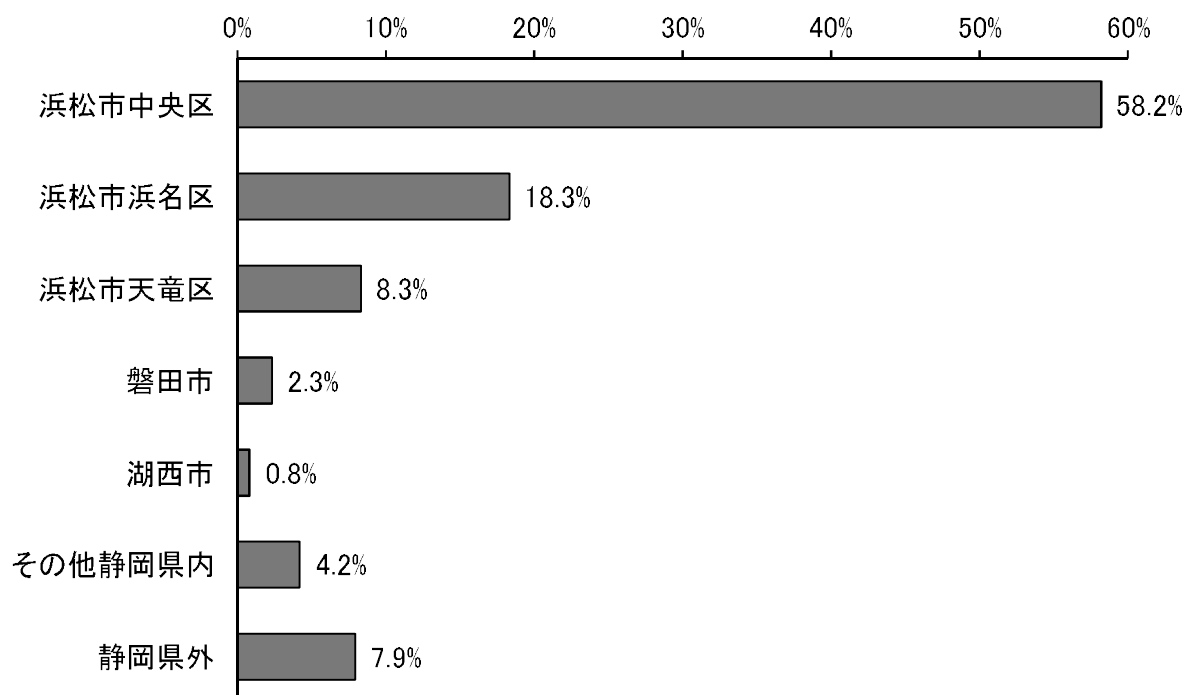


■公営墓地 □お寺などの宗教施設の墓地 ▨民間の霊園 ▤個人墓地、共同墓地

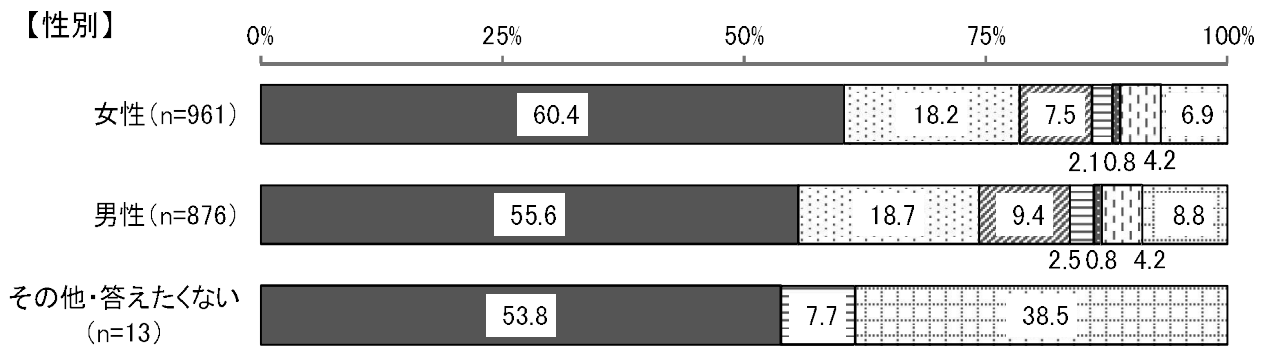
問5 問2で「1～4」と答えた方（お墓がある方）にお聞きます。
そのお墓の所在地について教えてください。

単一回答（n=1868）

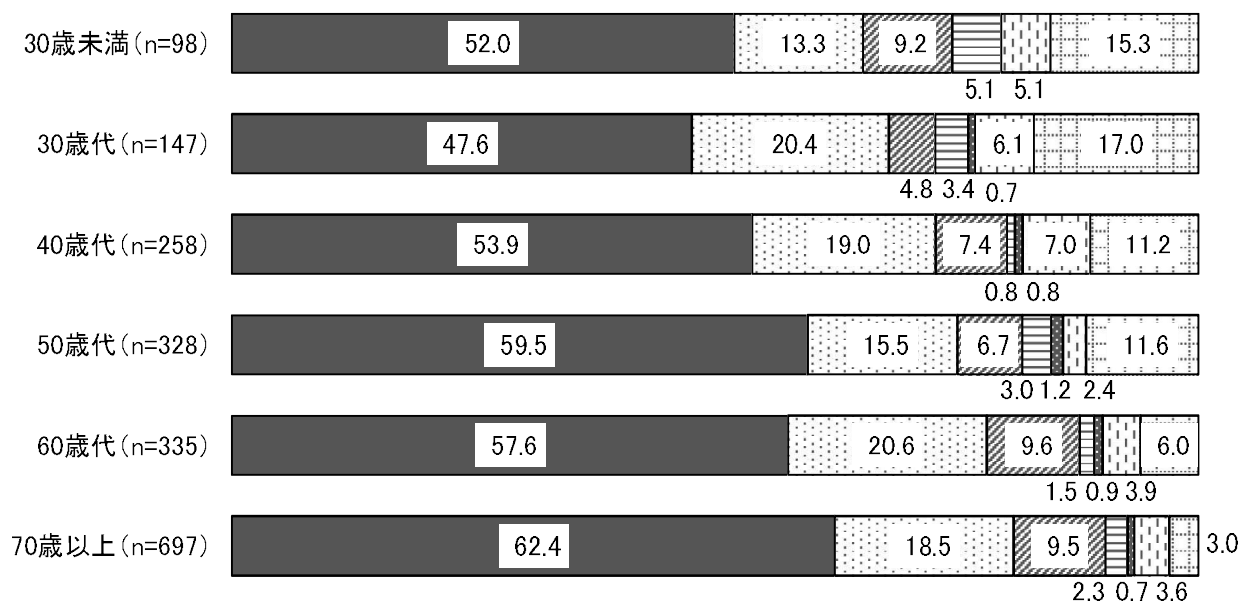
お墓の所在地は「浜松市中央区」が58.2%で最多



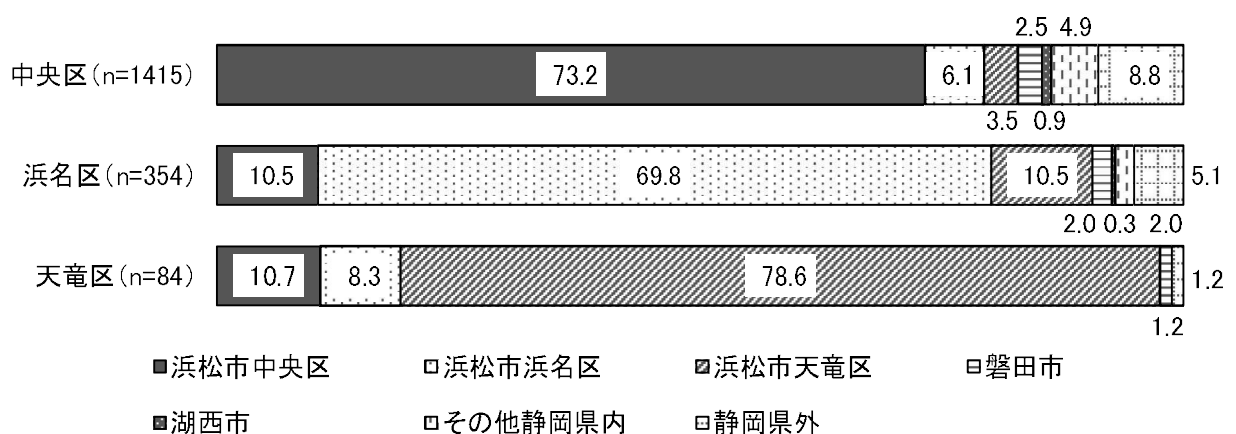
- 保有しているお墓の所在地については、全体では「浜松市中央区」が58.2%と最も多く、「浜松市浜名区」が18.3%、「浜松市天竜区」が8.3%となり、「浜松市中央区」「浜松市浜名区」「浜松市天竜区」を合計した『浜松市内』は84.8%となった。
- 性別でみても、全ての性別で「浜松市中央区」が最も多い。
- 年齢別でみても、全ての年齢で「浜松市中央区」が最も多く、「70歳以上」は62.4%と最も多い。
- 居住区別でみると、「中央区」は「浜松市中央区」が73.2%、「浜名区」は「浜松市浜名区」が69.8%、「天竜区」は「浜松市天竜区」が78.6%となり、保有しているお墓が居住区内にあると回答する割合が高い。



【年齢別】



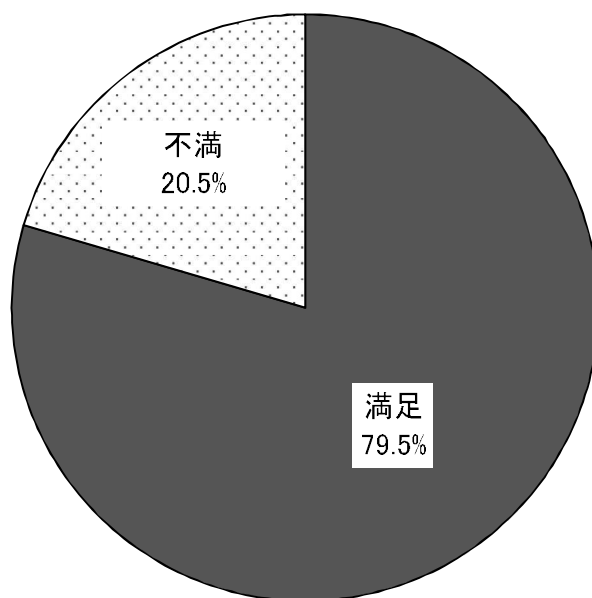
【居住区別】



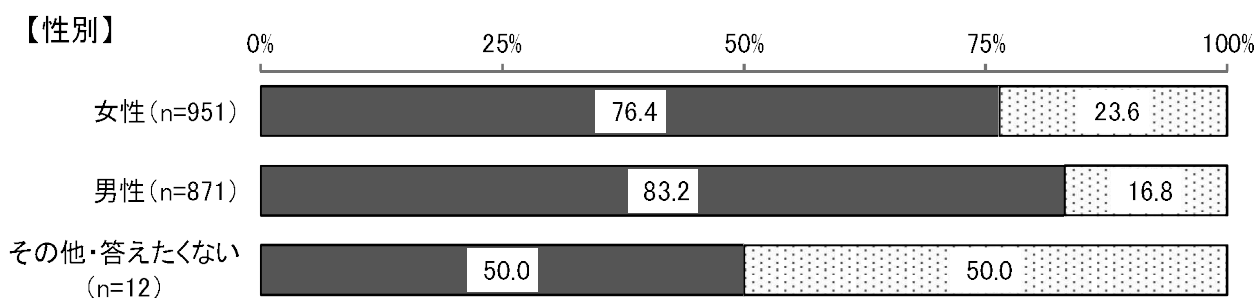
問6 問2で「1～4」と答えた方（お墓がある方）にお聞きます。
現在のお墓に満足していますか。

単一回答（n=1852）

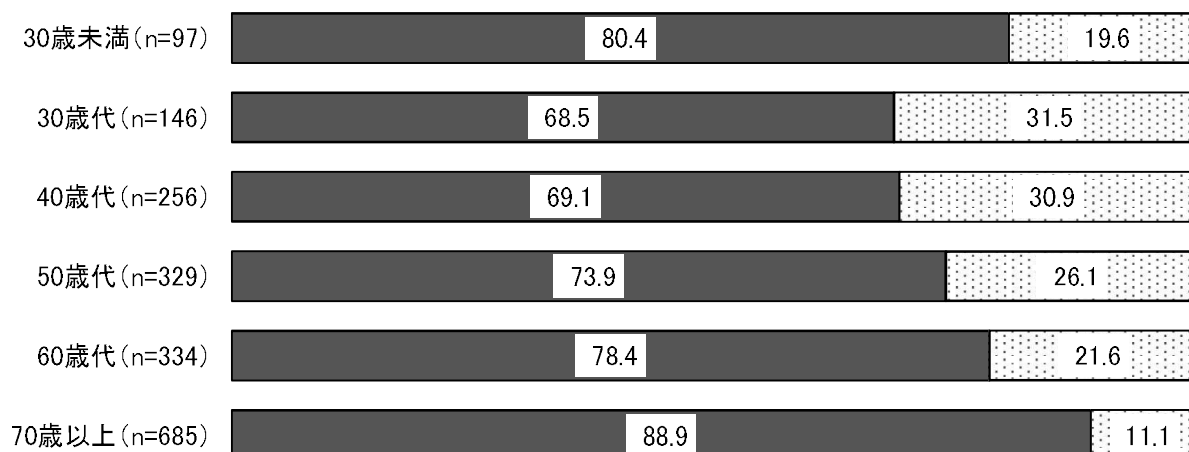
保有しているお墓に「満足」は79.5%



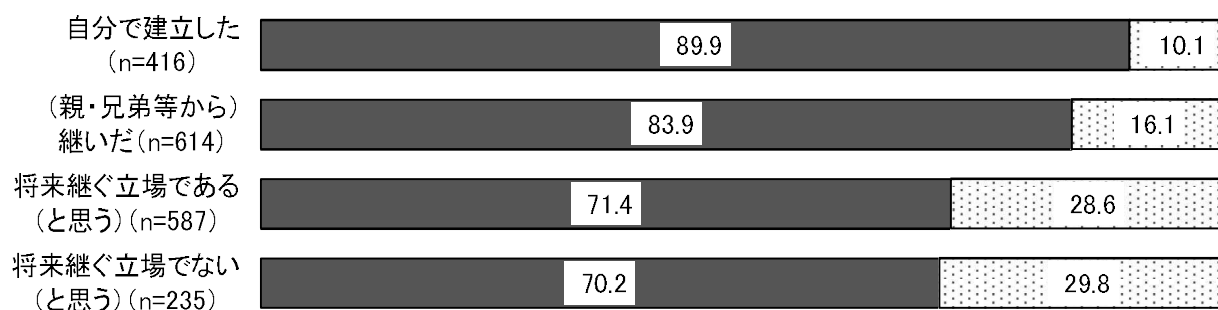
- 保有しているお墓に満足しているかについては、全体では「満足」が79.5%、「不満」が20.5%となった。「満足」は「不満」と比べて59.0ポイント上回る回答結果となった。
- 性別でみると、「満足」は「男性」が83.2%と最も多く、「女性」は76.4%となった。
- 年齢別でみると、「満足」は「70歳以上」が88.9%と最も多く、最も少ない「30歳代」の68.5%を20.4ポイント上回る。「30歳未満」は80.4%、「40歳代」は69.1%、「50歳代」は73.9%、「60歳代」は78.4%が「満足」と回答している。
- お墓に対する立場別（問2）でみると、「自分で建立した」は「満足」が89.9%と最も多く、次いで「（親・兄弟等から）継いだ」が83.9%となった。お墓に対する立場が強いほど「満足」の回答割合が高くなる傾向がある。
- 保有しているお墓の形態別（問4）でみると、「公営墓地」は「満足」が86.2%と最も多く、次いで「民間の霊園」が80.2%となった。



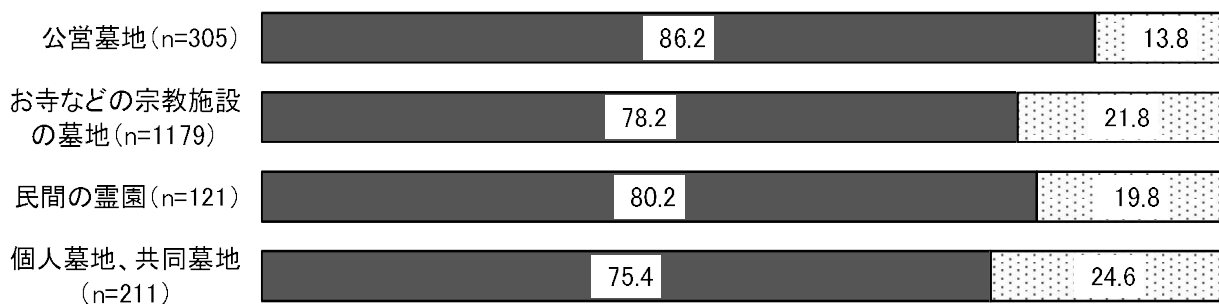
【年齢別】



【お墓に対する立場別】



【保有しているお墓の形態別】



■満足

□不満

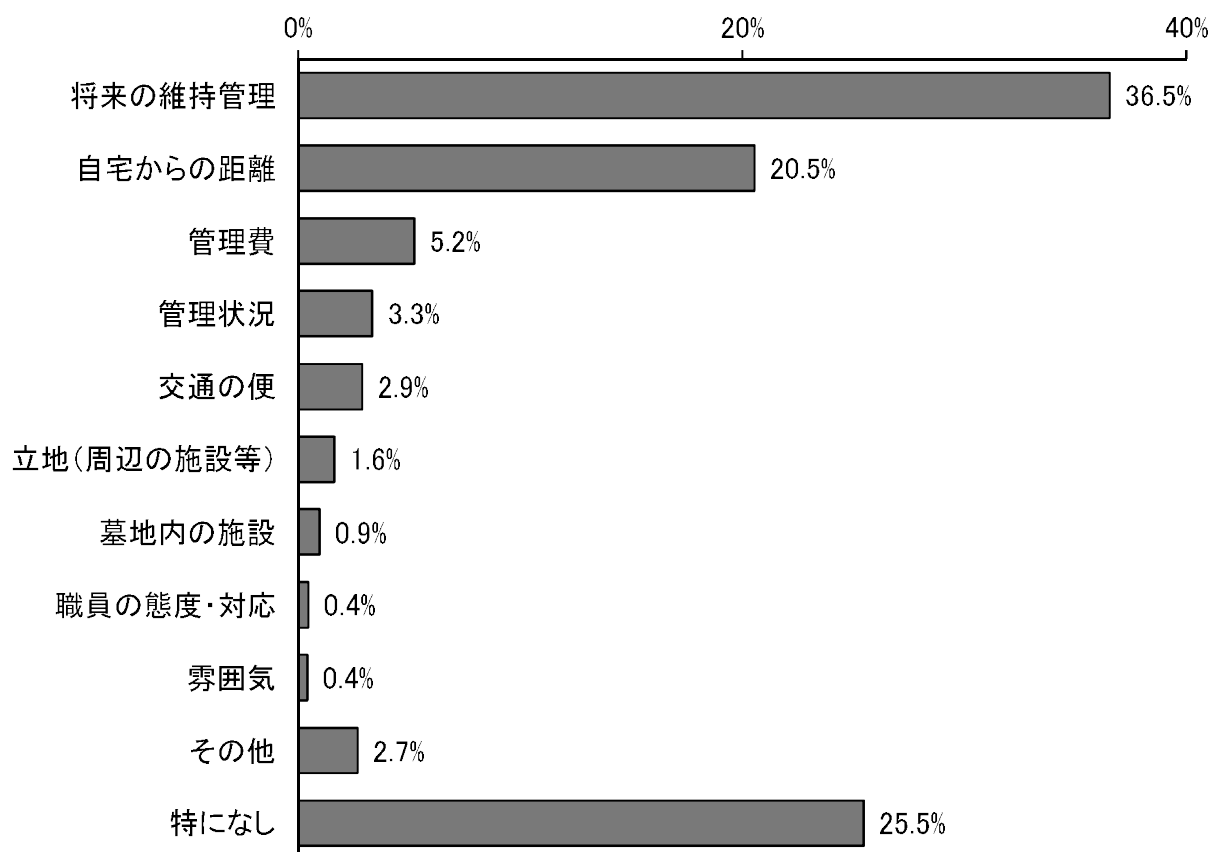
問7 問2で「1～4」と答えた方（お墓がある方）にお聞きます。

今のお墓の一番の課題や不満・不安だと感じている点を教えてください。

（問6で「1 満足」と答えた方も回答をお願いします。）

単一回答（n=1806）

保有しているお墓の一番の課題は「将来の維持管理」が36.5%

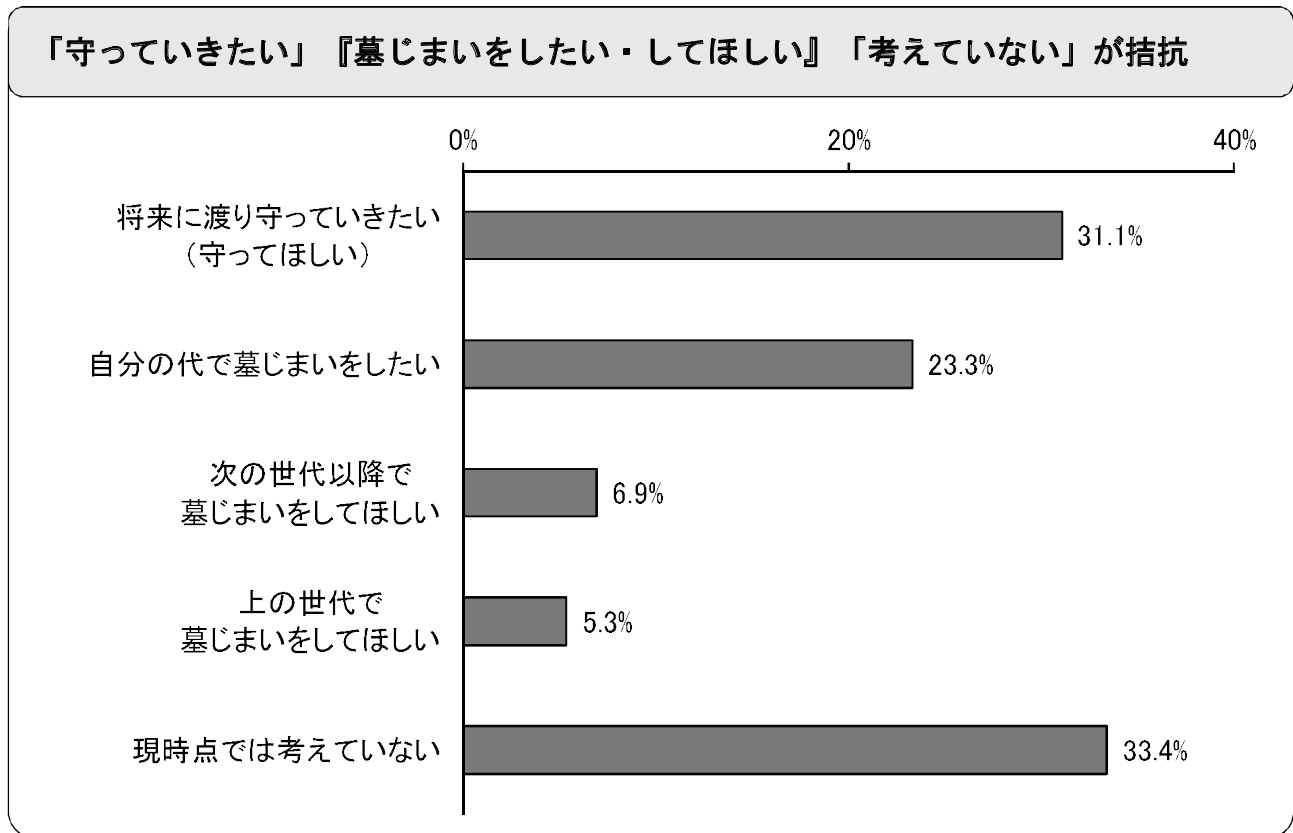


- 保有しているお墓の一番の課題については、全体では「将来の維持管理」が 36.5%と最も多く、次いで「特になし」が 25.5%となった。
- 性別でも、全ての性別で「将来の維持管理」が最も多い回答となった。
- 年齢別でみると、「30 歳未満」～「60 歳代」は「将来の維持管理」、「70 歳以上」は「特になし」が最も多い。
- お墓を守ってくれる人がいる別（問3）でみると、「はい」は「特になし」が 32.2%と最も多く、「いいい」は「将来の維持管理」が 43.0%と最も多い回答となった。
- 墓じまいの意向別（問8）でみると、「自分の代で墓じまいをしたい」「次の世代で墓じまいをしてほしい」「上の世代で墓じまいをしてほしい」「現時点では考えていない」は「将来の維持管理」となり、「将来に渡り守っていききたい」は「特になし」が最も多い。

	将来の維持管理	自宅からの距離	管理費	管理状況	交通の便	立地（周辺の施設等）	墓地内の施設	職員の態度・対応	雰囲気	その他	特になし
(%)											
性別											
女性(n=923)	37.5	20.2	5.5	3.7	3.7	1.5	0.9	0.3	0.7	2.5	23.6
男性(n=853)	35.6	21.1	4.9	2.9	2.0	1.6	1.1	0.5	0.1	2.6	27.5
その他・答えたくない(n=13)	23.1	15.4	—	—	7.7	7.7	—	7.7	—	15.4	23.1
年齢別											
30歳未満(n=94)	31.9	21.3	8.5	5.3	2.1	3.2	—	1.1	—	3.2	23.4
30歳代(n=142)	35.9	23.2	7.7	1.4	1.4	1.4	0.7	0.7	—	2.1	25.4
40歳代(n=247)	44.1	19.8	5.7	3.6	1.6	1.6	2.0	0.4	1.2	2.0	17.8
50歳代(n=326)	39.6	21.5	8.3	2.8	1.8	2.5	0.3	0.9	0.6	3.1	18.7
60歳代(n=321)	43.6	14.0	3.1	2.8	4.4	0.9	0.9	0.3	—	2.5	27.4
70歳以上(n=671)	29.8	22.8	3.6	3.9	3.6	1.2	1.0	0.1	0.3	2.8	30.8
お墓を守ってくれる人がいる別											
はい(n=714)	29.4	20.9	4.9	4.1	3.2	1.1	0.7	0.3	0.4	2.8	32.2
いいえ(n=279)	43.0	20.8	2.5	2.2	4.7	2.2	1.4	0.4	—	2.9	20.1
墓じまいの意向別											
将来に渡り守っていきたい(n=556)	24.1	21.8	3.6	4.3	2.7	1.4	1.6	0.5	—	2.9	37.1
自分の代で墓じまいをしたい(n=416)	50.5	20.7	5.8	2.4	3.6	1.4	1.0	0.7	—	1.9	12.0
次の世代以降で墓じまいをしてほしい(n=122)	48.4	20.5	5.7	4.1	1.6	—	—	0.8	1.6	3.3	13.9
上の世代で墓じまいをしてほしい(n=95)	57.9	20.0	9.5	—	1.1	3.2	—	1.1	1.1	1.1	5.3
現時点では考えていない(n=599)	32.9	20.0	5.3	3.2	3.0	2.0	0.7	—	0.7	3.2	29.0

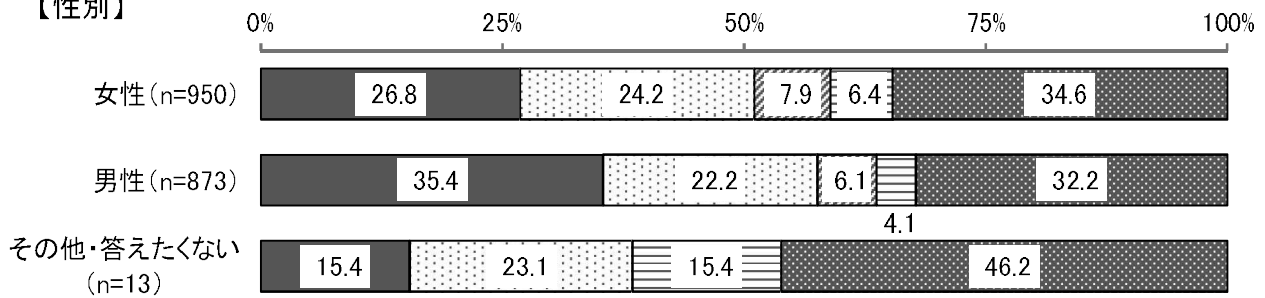
問8 問2で「1～4」と答えた方（お墓がある方）にお聞きます。
そのお墓について、今後の考えを教えてください。

単一回答（n=1854）

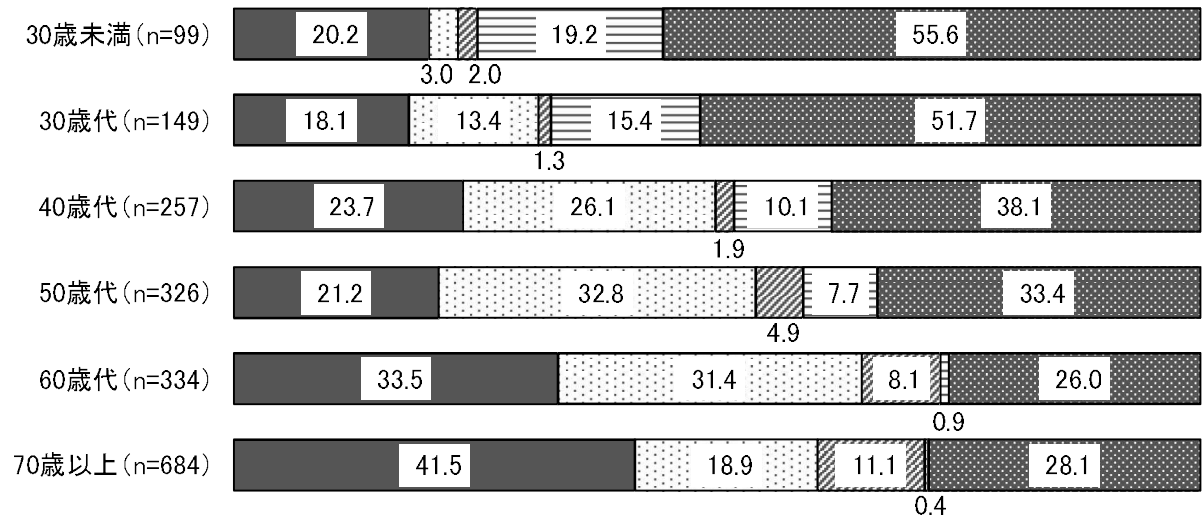


- 保有しているお墓の今後の考えについては、全体では「現時点では考えていない」が33.4%と最も多い。2番目から4番目の選択肢「自分の代で墓じまいをしたい」「次の世代以降で墓じまいをしてほしい」「上の世代で墓じまいをしてほしい」を合計した『墓じまいをする（したい、してほしい）』は35.5%となった。「将来に渡り守っていきたい」は31.1%となり、「守っていきたい」「墓じまいをする（したい、してほしい）」「考えていない」で3分する回答結果となった。
- 性別でみると、「男性」は「将来に渡り守っていきたい（守ってほしい）」が最も多く、「女性」を8.6ポイント上回る。
- 年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「将来に渡り守っていきたい（守ってほしい）」の回答割合が高くなる傾向にある。一方で、「50歳代」「60歳代」は「自分の代で墓じまいをしたい」が3割を超える。「上の世代で墓じまいをしてほしい」は年齢が低くなるにつれて回答割合が高くなっている。
- お墓の利用範囲別（問21）でみると、「先祖代々」は「将来に渡り守っていきたい（守ってほしい）」が53.1%と最も多く、最も少ない「お墓は嫌（散骨）」の3.9%を49.2ポイント上回る。「配偶者（パートナー）と2人」「自分のみ」「知らない人とも一緒（合葬式）」「お墓は嫌（散骨）」は『墓じまいをする（したい、してほしい）』が5割を超えている。

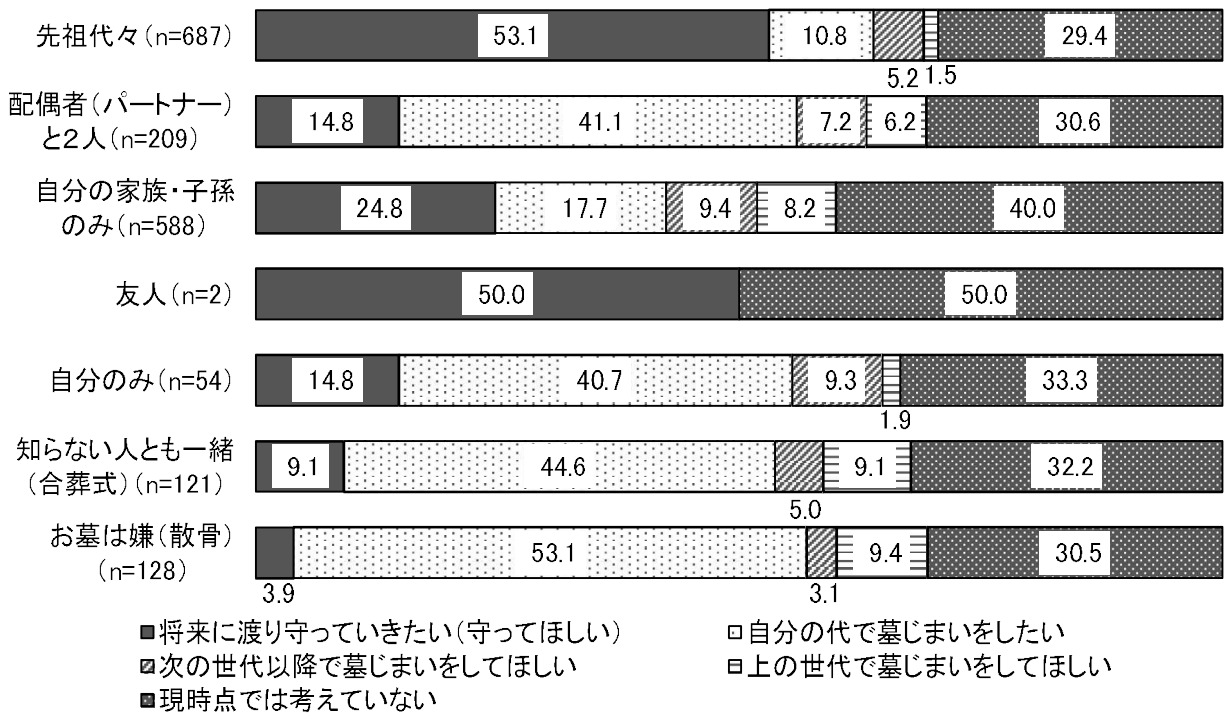
【性別】



【年齢別】



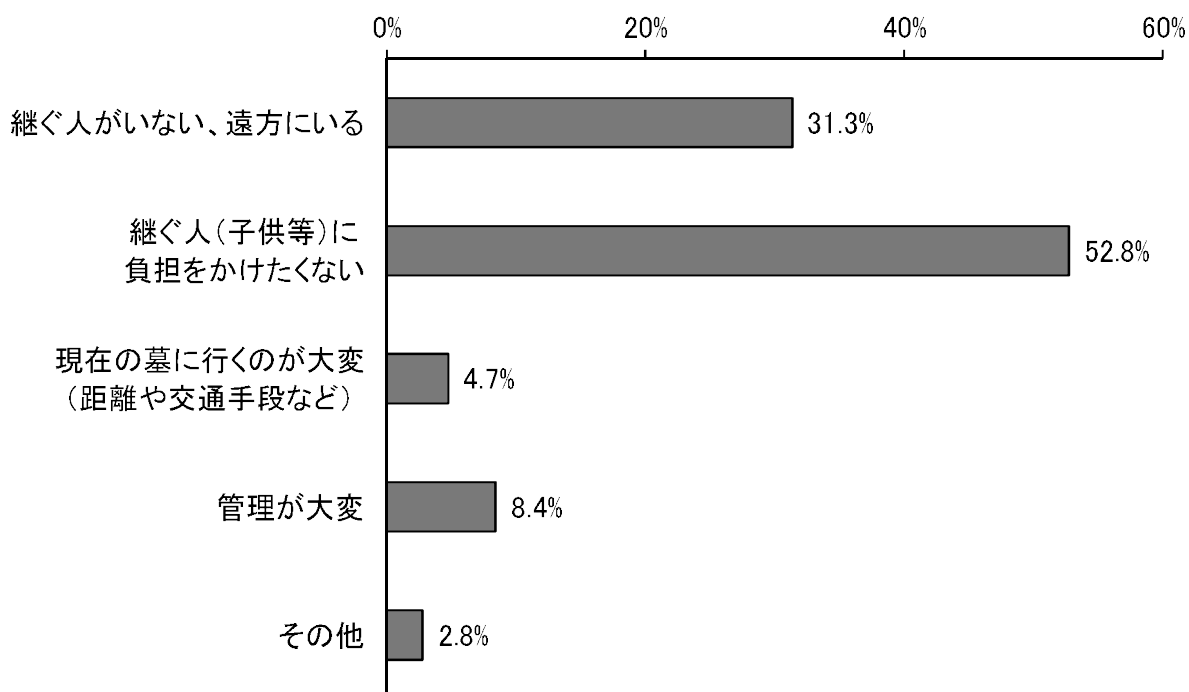
【お墓の利用範囲別】



問9 問8で「2～4 墓じまいをする（したい、してほしい）」と答えた方にお聞きします。
そう考える一番の理由を教えてください。

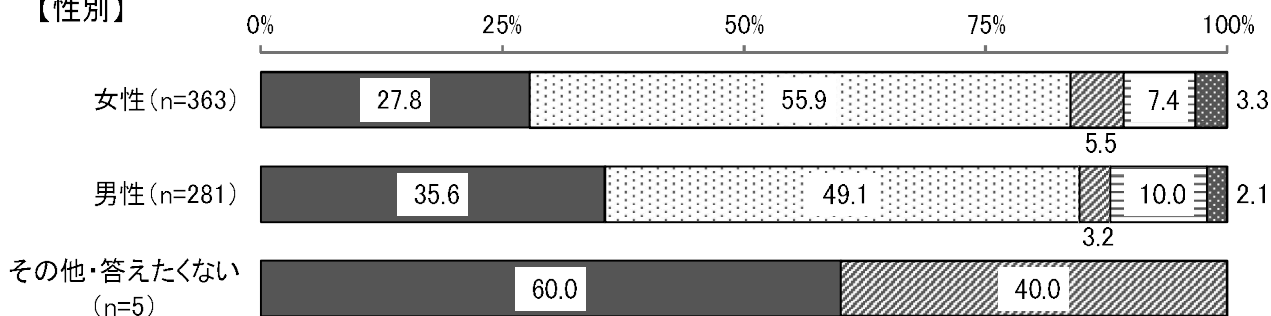
単一回答（n=654）

墓じまいの一番の理由は「継ぐ人（子供等）に負担をかけたくない」が52.8%

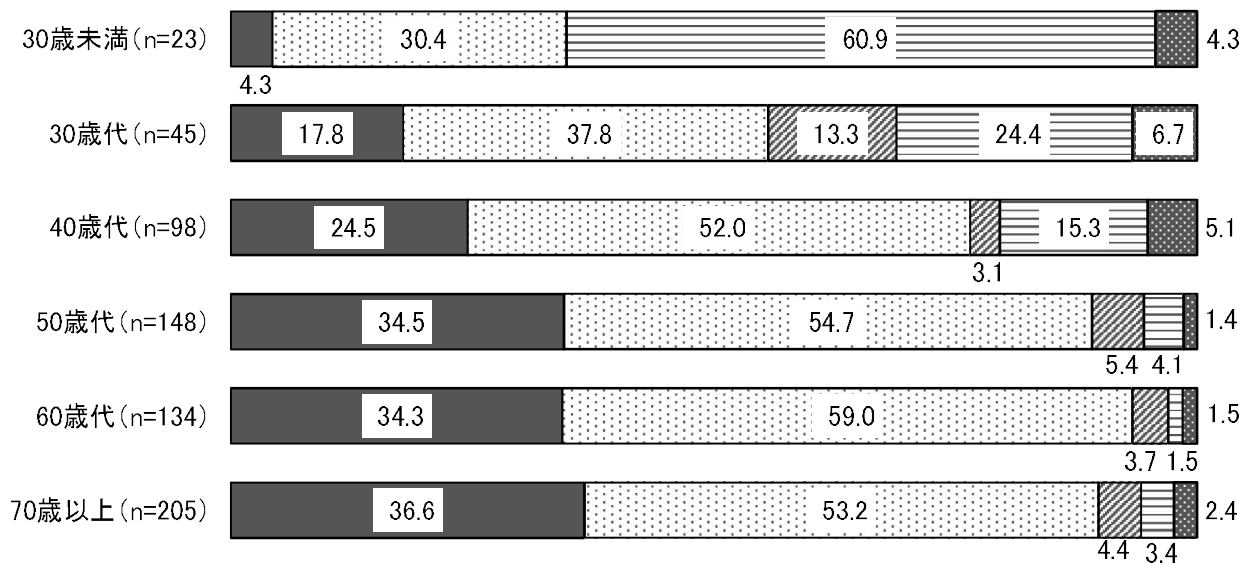


- 墓じまいをする（したい、してほしい）と考える一番の理由については、全体では「継ぐ人（子供達）に負担をかけたくない」が52.8%と最も多く、次いで「継ぐ人がいない、遠方にいる」が31.3%となった。「距離」や「管理」の問題よりも、後継者に関する問題が墓じまいの大きな理由と考えていることがうかがえる。
- 性別でみると、「女性」「男性」とともに「継ぐ人（子供達）に負担をかけたくない」が約5割となった。
- 年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「継ぐ人がいない、遠方にいる」「継ぐ人（子供達）に負担をかけたくない」の後継者に関する回答割合が高くなる傾向にある。
- 世帯構成別でみると、全ての世帯構成で「継ぐ人がいない、遠方にいる」と「継ぐ人（子供達）に負担をかけたくない」の合計が約8割となった。しかしながら、「単身」は「継ぐ人がいない、遠方にいる」が60.7%、「夫婦のみ」「二世帯同居」「三世帯以上」は「継ぐ人（子供達）に負担をかけたくない」が最も多い。後継者に関する問題が、「単身」は現在後継者がいないことを理由にしている一方で、「夫婦のみ」「二世帯同居」「三世帯以上」は後継者への将来的な負担を理由にしていることが回答結果の違いとなった。

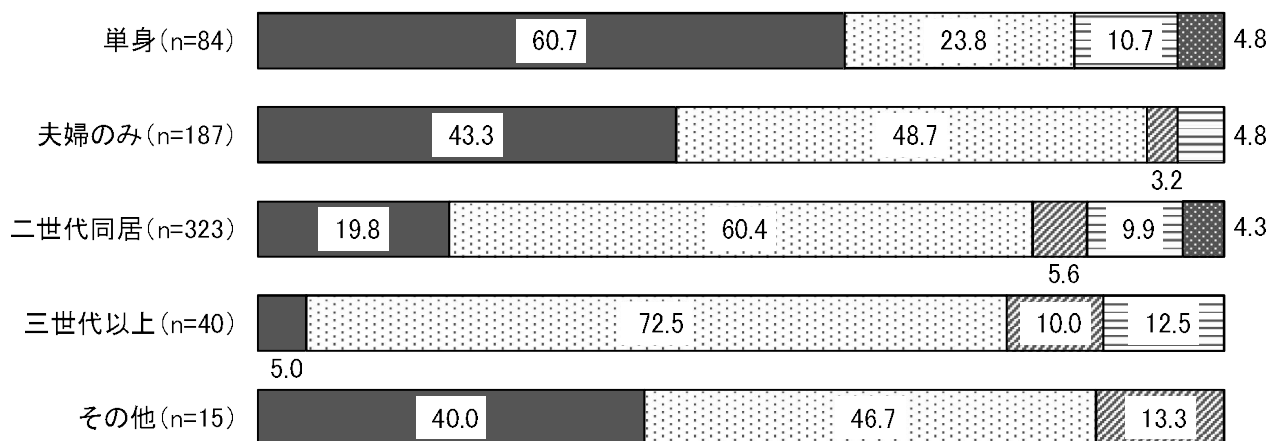
【性別】



【年齢別】



【世帯構成別】



- 継ぐ人がいない、遠方にいる
- 継ぐ人(子供等)に負担をかけたくない
- ▨ 現在の墓に行くのが大変(距離や交通手段など)
- ▩ 管理が大変
- その他